

今後の社会経済の展望

- 人口の減少、高齢化の進行
- 平均寿命の延伸
- 暮らし・労働・学びの多様化
- 共助社会の拡大
- 人々の価値観の多様化
- 超スマート社会（Society5.0）の到来
- グローバル化の進展



今後の主なスポーツ関連の動き

2023年	・休日の学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行の段階的推進 ・第19回アジア競技大会・第4回アジアパラ競技大会の開催
2024年	・パリオリンピック・パラリンピックの開催
2025年	・愛知県新体育館（愛知国際アリーナ）の開業 ・デフリンピック 2025 夏季大会の東京での開催  <p>愛知県新体育館の外観イメージ ©2022 Aichi International Arena ※画像はイメージです。デザインなどは変更になる場合があります。</p>
2026年	・ミラノ・コルティナダンパッツォ冬季オリンピック・パラリンピックの開催 ・名古屋市瑞穂公園陸上競技場の整備 ・第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会の開催  <p>©フォート・キンモト</p>  <p>©Asian Paralympic Committee/Jakarta Post</p>
2027年	・ワールドマスターズゲームズ関西の開催
2028年	・ロサンゼルスオリンピック・パラリンピックの開催 ・全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の東海地区（主管県：愛知県）での開催



計画の推進

- 県庁内の関係部局や市町村を始め、企業や大学、関係団体、NPOなど多様な主体と連携・協働し、取組を推進します。
- 県民の皆様が様々な形でスポーツに関わることができるよう、本計画の内容や取組状況について、広く周知・広報を実施します。
- 計画の進捗状況を客観的に把握するため、目指すべき姿の実現に向けた成果達成目標と、個別施策の進捗を管理する進捗管理目標を設定するとともに、各指標の確認を通して進捗状況の把握に努めます。
- 計画に基づく各取組の進捗状況、成果や課題等については、愛知県スポーツ推進審議会に報告し、審議会での意見等を踏まえて効果的な推進に努めます。



愛知県スポーツ推進計画 2023-2027 ～スポーツがつなぐ愛知の未来～

2023年3月策定

作成・発行 愛知県スポーツ局スポーツ振興課
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 052-954-6247 (ダイヤルイン)
メールアドレス sports@pref.aichi.lg.jp
Web サイト <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sports/>

SPORT

愛知県スポーツ推進計画 2023-2027 概要版



スポーツがつなぐ



愛知の未来



AICHI

策定趣旨

○スポーツ基本法第10条第1項には、都道府県及び市町村の長又は教育委員会は、国が策定するスポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即した地方スポーツ推進計画を策定するよう努めることが定められています。

○本県は、2013年3月に「いきいきあいち スポーツプラン」（以下、「前計画」）を策定し、中間年における改定を経て、豊かで活力に満ちた「スポーツ愛知」の実現に向けた様々な取組を推進してきました。

○2019年度からは、県庁のスポーツ関係業務を一元化してスポーツ局を設置し、全国・世界に打ち出せるスポーツ大会の招致・育成や地域スポーツ環境の充実、トップアスリートの育成、障害者スポーツの振興などに一丸となって取り組んできました。

○一方、2020年初頭から急速に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症は、人々の価値観やライフスタイルに大きな影響を与え、イベントの開催制限、大会の延期・中止など、スポーツ界にも多大な影響を及ぼしました。日常生活の回復に向けた取組が進んでいるものの、スポーツ分野においても感染状況を踏まえた取組が行われています。

○そのような中、国は2022年3月に第3期スポーツ基本計画を策定しました。当該計画においては、コロナ禍において再認識された「スポーツの価値」を定義するとともに、東京2020大会を契機とした、スポーツを活用した共生社会の実現への方向性が強く打ち出されました。

○今般、前計画の計画期間の最終年を迎えることから、こうした背景を踏まえるとともに、2025年夏の愛知県新体育館の開業や、2026年のアジア競技大会・アジアパラ競技大会の開催といった本県の大規模プロジェクトを見据え、中長期的な視点で本県のスポーツ振興に取り組むための、新しい「愛知県スポーツ推進計画」を策定するものです。

計画の位置付け

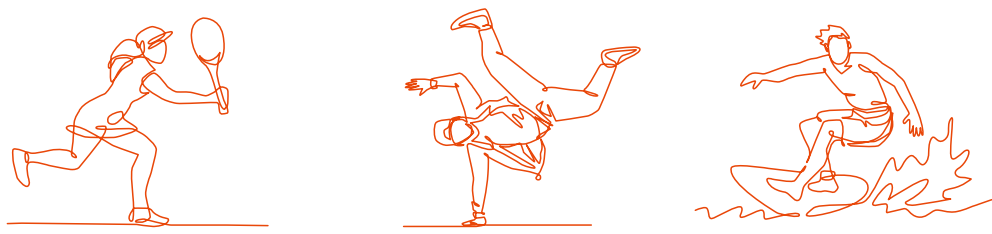
○スポーツ基本法第10条第1項の規定に基づき、本県のスポーツ振興に関する中長期的な展望と、総合的な施策を示すものです。

○「アジア競技大会・アジアパラ競技大会を活用した地域活性化ビジョン（2019年3月策定、2023年3月改訂）」を始め、スポーツに関連する他の計画との連携を図ります。

計画期間

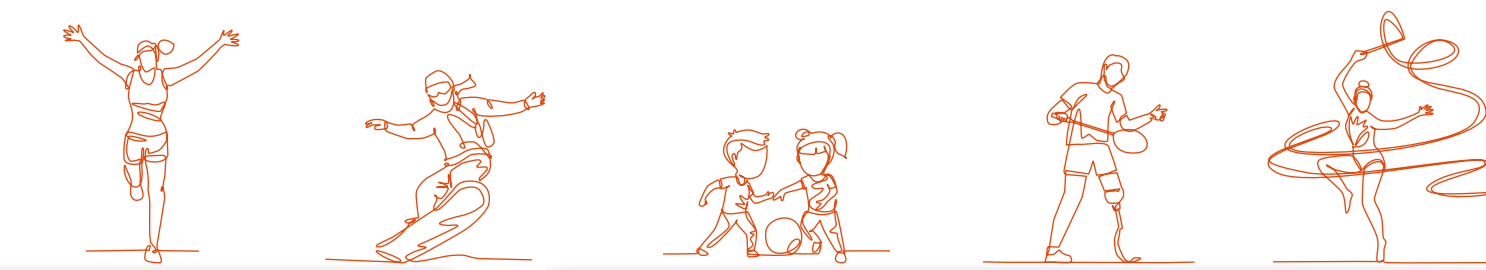
○国のスポーツ基本計画の計画期間が5年間であることを踏まえ、2023年度から2027年度までの5年間とします。





基本理念

アジア・アジアパラ競技大会を活かし、すべての人がともにスポーツを楽しみ、スポーツの力で豊かで活力ある愛知の実現



I 多様な主体におけるスポーツに関わる機会の創出



○本県の20歳以上のスポーツ実施率は56.3%と、全国並みであるものの、年代別に見ると30代や40代の割合が低くなっています。また、障害者の実施率は23.0%と、全国値を大きく下回っており、1年間にスポーツを行わなかった方の割合は半数以上となっています。

○多様な主体がスポーツに関わる機会を創出し、心身の健康や体力の増進、生きがいづくり、社会参加の促進など、スポーツを通じた様々な効果を生み出していく必要があります。

現状と課題

II 子どものスポーツ活動の充実



○「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における本県の「体力合計点」は、小・中学生の男女全てにおいて低下傾向にあるとともに、ほとんどの種目において全国平均を下回っており、こうした現状を的確に捉え、取組につなげる必要があります。

○一方、公立中学校の休日の部活動については、国から地域移行を段階的に進めるといった方向性が示されました。児童生徒のスポーツ機会を確保するため、地域において持続可能で多様なスポーツ環境の整備が求められています。

III トップアスリートの育成、活躍支援



○トップアスリート・パラアスリートのひたむきな努力や国際舞台での躍動は、夢や感動をもたらすとともに、スポーツへの興味・関心を喚起し、スポーツ実施への原動力となるものです。

○選手の発掘・育成・強化を計画的に進め、アジア競技大会・アジアパラ競技大会などの国際大会での活躍につなげるとともに、競技運営を担う人材を確保・育成し、大会運営能力の向上に努めることで、本県の競技力を支えていく必要があります。

IV アジア・アジアパラ競技大会の開催、レガシー創出



○2026年に愛知・名古屋で開催するアジア競技大会・アジアパラ競技大会は、スポーツの振興はもとより、成長著しいアジアに向けて本県の魅力や先進的な産業技術を示す絶好の機会です。

○大会を活かし、この地域を始め日本全体の成長に貢献するとともに、県民のスポーツへの参加やスポーツ大会の招致・開催、スポーツを通じた共生社会の実現など、様々なレガシーとして次世代につなげるよう、取組を進めていく必要があります。

V スポーツによる地域活性化



○本県は大都市圏でありながら豊かな自然環境や特色のある地域を数多く有し、多くのプロスポーツチームが本拠地を構えるなど、人を惹きつける魅力的なスポーツ資源を有しています。

○こうした特色を活かし、あいちスポーツコミッションの活動やスポーツツーリズムの振興、スタジアム・アリーナ整備などを通して、域外から人を呼び込み、スポーツを端緒とした周辺産業への経済波及効果を生み出し、地域活性化につなげていく必要があります。

目指すべき姿

すべての人が生涯にわたりスポーツに関わり、スポーツにより人と人がつながる愛知

◆成果達成目標
週1回以上のスポーツ実施率

目標値 成人*: 70% ※20歳以上の者
障害者: 40%

世界で活躍するトップアスリートを継続的に輩出し、夢や感動を分かち合う愛知

◆成果達成目標
国際大会に出場する本県ゆかりの競技者数

目標値 300人

スポーツを通じて世界から人を呼び込み、交流を生み出し、持続的に成長する愛知

◆成果達成目標
県が主催するスポーツ大会へのエントリー数、観戦者数

目標値 エントリー数: 165,000人
観戦者数: 3,660,000人

目指すべき姿を実現するための基本施策

具体的な取組

スポーツ人口の裾野拡大

- SNS等を活用した情報発信
- 親子で楽しめるスポーツ機会の創出
- あいち健康マイルージ事業の推進
- 高齢者の生きがいづくり支援

あいちスポーツコミッションSNS
Facebook Twitter Instagram

障害者スポーツの推進

- 地域や大学、企業との連携や指導者・支援者の確保・育成等を通じた体制整備
- 身近な地域でスポーツに関わる機会の創出
- スポーツによる障害者と地域住民との交流促進

Webサイト「aispotDo!」
「あいちバラスポーツサーター」養成研修会

地域のスポーツ環境の充実

- スポーツ施設の整備・充実
- クラブの質的向上に向けた「登録・認証制度」の活用
- スポーツ推進委員の資質向上・活動促進

あいちパラスポPARK

児童生徒の体力向上

- 日頃の身体活動の充実
- 運動・スポーツに対する興味・関心の喚起
- 子どもの体力向上に向けた取組の推進

あいち体育のページ

学校体育・スポーツの充実

- 研修などによる教員の指導力向上
- 地域の指導者・団体の活用など指導体制の充実
- 特別支援学校との連携
- 学校体育施設・設備等の安全管理の推進

多様なニーズに応じた運動部活動の推進

- 地域のスポーツ資源を活用した指導の充実
- 部活動指導員等の確保
- 持続的な運動部活動の推進
- 複数の移行パターン構築による運動部活動の地域移行の推進

トップアスリート・パラアスリートの発掘・育成

- あいちトップアスリートアカデミーにおける地元出身選手の発掘・育成
- 大学との連携に基づく取組の推進
- スポーツ医・科学に基づく支援体制の充実

あいちトップアスリートアカデミー(ライフル射撃)

トップアスリート・パラアスリートの強化・活用

- 県強化指定選手への支援
- アスリートのキャリア形成に向けた支援
- トップレベルの選手・指導者との交流機会の創出

強化指定選手の代表者に対する認定証の授与

国民体育大会への選手派遣等

- 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会などへの選手派遣
- 国民体育大会等に向けた県代表選手の競技力向上
- 大会運営能力の向上
- スポーツ界の透明性、公平・公正性の向上

競技運営能力向上研修会

開催に向けた取組・機運の醸成

- 各種計画の策定や競技会場等の整備
- テスト大会等を通じた開催機運の醸成
- 大会ボランティアの確保・育成
- 大会の広報・PRの推進

第20回アジア競技大会、第5回アジアパラ競技大会PRポスター

大会を活用した地域活性化

- 地域に根差したスポーツの推進
- アジア各国との交流の推進
- 大会における「Made in AICHI」のショーケース化
- 来訪者の受入環境の整備
- 大会PRと併せた愛知・名古屋の魅力発信

大会PRに向けたブース出展

共生社会の実現への貢献

- 多様性への理解促進
- 競技会場等におけるユニバーサルデザインの推進
- 外国人県民との相互理解の促進

セバタクロールを通じた交流会

全国・世界に打ち出せるスポーツ大会の招致・育成

- あいちスポーツコミッションによるスポーツ大会の招致・育成
- スポーツ大会の魅力向上、大会を活かした情報発信
- 様々な地域資源を活かしたスポーツツーリズムの推進
- 観光施策と連携した県内周遊性や来訪者の満足度向上

名古屋ウィメンズマラソン

愛知県新体育館の内観イメージ
© 2022 Aichi International Arena
※画像はイメージです。デザインなどは変更になる場合があります。

スポーツの成長産業化

- スタジアム・アリーナの整備、賑わい創出
- デジタル技術を用いたスポーツの新たな価値の創出
- スポーツオープンイノベーションの推進

SDGs
グランパスSDGsアクション
©N.G.E.